

私達は日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2018年05月07日 No.438
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

赤磐原水協

足王神社春の大祭でヒバクシャ署名行動

赤磐原水協は恒例の「足王神社春の大祭」に合わせた「ヒバクシャ国際署名」に取り組みました。この行動は20年間続くもので、地域にはすっかりおなじみの行動。たくさんの方々が気軽の署名に応じてくれました。11人参加し、1時間の行動で112筆、1080円の募金が寄せられました。



「板門店宣言」を歓迎 日本原水協が声明

日本原水協は5月1日、韓国と北朝鮮の首脳会談について、「歴史的合意を心から歓迎するとともに、朝鮮半島の非核化と東北アジアの平和実現に向けて、その誠実な履行を希望する」という内容の安井正和事務局長談話を発表しました。

新婦人

あかいわ支部

平和の2署名で頑張る

対話が進むシール投票



4月29日は地域の「足王神社春の大祭」です。参拝者も多いため、毎年この日を署名行動日と位置付けてみんなで頑張っています。特に3000万署名には締め切り日が近いとあって力が入ります。今回はご夫婦での参加もあり13名が平和の2署名、シール投票で対話をしながらの署名行動。ヒバクシャ署名が22筆、3000万署名が81筆でした。支部では3000万署名目標を高く掲げ、2100と決めています。今回の分を加算すると現在1521筆、目標数を達成できるよう頑張りたいと思います。

シール投票は、今国会で話題となっている人物の写真を貼って「あなたがレッドカードを出したいのは誰？」と問いかけると、安倍首相、福田元財務次官に多くのシールが集まり、小学生や中学生も「この人知っている」と関心を持ってシール投票に参加。若い男性からは「安倍さんはもう辞めなあかんわ」とシール投票。林大臣の「ヨガ問題」を小学生が知っていたのは驚きでした。話題を誘ってワイワイと対話できるシール投票は署名を楽しくする効果があるなどおもいました。(写真・4/29行動終了後の記念撮影)

新婦人あかいわ支部・木村敏子

岡山県原水協2018年度定期総会
5月26日(土)13:30~ 岡山市・勤労者福祉センター